

初 Electron & Node.js 時にハマったこと

@blp1526

自己紹介

- Vim を愛用しています
- Fedora が好き

作った Electron アプリ

どちらも **Mac** 専用のコマンドを利用して作成

- [blp1526/lightning-talks-timekeeper](#)
 - [say](#) コマンドを利用
- [blp1526/cammy](#)
 - [screencapture](#) コマンドを利用

実演

自分なりの初 Electron 開発の 進め方

- 知り合いが作った小さなアプリをコミット順に写経して進め方を学ぶ
- [sindresorhus/awesome-electron](https://github.com/sindresorhus/awesome-electron) からよさげなアプリを探して真似る

躓いたところ

- 開発環境では動くがビルド環境では期待した挙動にならない
 - かといってビルド時にエラーが出るわけではない

原因と修正

- [このコミット](#)で解決

Node.js の process.cwd()

- [公式ドキュメント](#)によると、
 - Returns the current working directory of the process. とのこと

開発環境の `cwd` について

- 開発環境ではターミナルから Electron を起動していた
 - そのため、`cwd` はターミナルの `cwd` となると思われる

開発環境の `cwd` を確認する

- `lsof -d cwd` で確認

```
user{Darwin}[jobs:0]:~$ lsof -d cwd | grep -e
Electron -e COMMAND
COMMAND          PID  USER   FD   TYPE DEVICE SIZE/OFF
NODE NAME
Electron  20499 user   cwd   DIR   1,4   544
52951116
/Users/user/.ghq/github.com/blp1526/lightning-
talks-timekeeper
Electron  20500 user   cwd   DIR   1,4   544
52951116
/Users/user/.ghq/github.com/blp1526/lightning-
talks-timekeeper
Electron  20501 user   cwd   DIR   1,4   544
```

52951116

/Users/user/.ghq/github.com/blp1526/lightning-
talks-timekeeper

ビルド環境の `cwd` について

- 当然デーモンとして起動
 - [man 3 daemon](#) の通り、特に設定がされていないならば `cwd` は / のはず

ビルド環境の **cwd** を確認する

- `lsof -d cwd` で確認

```
user{Darwin}[jobs:0]:~$ lsof -d cwd | grep -e
Electron -e COMMAND
COMMAND      PID  USER   FD   TYPE  DEVICE  SIZE/OFF
NODE  NAME
Electron  20578  user   cwd   DIR    1,4     1224
2 /
```

まとめ

- 普段 Web開発ばかりでビルドする機会がほとんどないからこそこの躓き
- 公式のドキュメントを必ず参照しよう
 - Node.jsのディレクトリ参照の解説サイトに載っていたので、これがNode.jsの定石と勘違いしてしまった
- 『なるほどUnixプロセス』を再読するいい機会となった